

令和4年度

施政方針

令和4年2月

安芸高田市

目 次

| | | |
|----------------|-------|---|
| 1. はじめに | | 1 |
| 2. 行財政運営の基本方針 | | 1 |
| 3. 主な事業 | | 2 |
| (1)危機への対応 | | 2 |
| (2)教育の推進 | | 3 |
| (3)医療・介護・福祉の充実 | | 3 |
| (4)生活環境の向上 | | 4 |
| (5)産業の振興 | | 5 |
| (6)文化・芸術の振興 | | 6 |
| (7)多様性の構築 | | 6 |
| 4. おわりに | | 7 |

1. はじめに

令和4年第1回定例会の開会にあたり、市政運営に関する私の所信と令和4年度当初予算における主要施策の概要について説明します。

依然として、新型コロナウイルス感染症は収まらず、厳しい情勢が続いています。こうした中、感染症の影響を受ける方々の支援とともに、社会経済活動の再開に注力していく考えです。

また、令和3年8月に、本市では記録的な大雨によって甚大な災害が発生しました。今後も国や県と連携し一日も早く復旧・復興を進め、災害に強い安全・安心なまちを構築していきます。

何よりも深刻なのは、市が抱える構造的な問題です。持続可能な行財政運営を実現するため、引き続き、聖域を設けることなくあらゆる事業の見直しに取り組みます。

2. 行財政運営の基本方針

それでは、行財政運営の基本方針について説明します。

今後、日本は本格的な人口減少局面に突入します。これが回避不能な環境の変化である以上、人口減少を踏まえ、既存の諸制度を設計し直さなければなりません。

財政においては、ふるさと納税の活用などで歳入を確保するとともに、全体最適を重視した事務・事業の再設計で歳出を抑制するよう努めます。とりわけ、公共施設等に係る歳出は大きな課題です。事実、平成27年2月に策定した「公共施設等総合管理計画」では、公共施設等の現状維持は

不可能と結論づけられています。インフラの更新を最小限に抑える一方で、公共建築物の総延床面積を20年間で30%以上削減するという目標に向けた取り組みが必要です。また、財政の硬直化を防ぐには、産業系施設に関する指定管理料や上下水道事業に対する繰出金も見直さなければなりません。

なお、こうした取り組みを進める際には、「あきたかた Meet-up」や「市民モニター制度」を活用し、広く市民の声を集め、反映させていきます。

また、市役所では、大規模災害への対応や重点施策の推進に適うよう組織再編を行います。併せて、抜本的に事務・事業を見直し、組織の効率性を高める計画です。

こうした結果、令和4年度の当初予算規模は、一般会計、198億2,100万円（対前年度比3.1%増）、6つの特別会計は、合計90億4,717万4千円（対前年度比0.3%減）、地方公営企業法適用の水道事業会計と下水道事業会計は、収益的収支と資本的収支の合計で25億1,504万1千円（対前年度比5.6%減）となりました。

3. 主な事業

続いて、令和4年度の主な事業について説明します。

(1) 危機への対応

1点目は、**危機への対応**です。

目先は、新型コロナウイルス感染症への対処を最優先と位置づけていきます。これまで、市対策本部は状況に即して機動的な対応を実践してきました。引き続き、情勢を踏まえた感染拡大の防止策を講じつつ、市医師会

等とも連携を取りワクチン接種や各種支援を進めていきます。

また、昨年 8 月の豪雨災害を契機に、備蓄物資の見直しも含め災害に対応するための体制を一段と強化しました。今後、ボランティアの受け入れや災害廃棄物の処理が円滑に進むよう工夫するとともに、地域における自主防災組織の設立や訓練を支援し、災害への備えをさらに拡充します。

(2) 教育の推進

2 点目は、**教育の推進**です。

まず、ソフト面では、総合的な生きる力を高める機会として、「未来チャレンジ探究学習」の充実を図ります。ICT 等も活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に努める方針です。

ハード面では、遅れていたトイレの改修や照明の LED 化など学校設備の改善に注力します。

また、将来にわたって、子ども達にソフトとハードの両面でより良い学習環境を提供していくため、中学校統合の議論を進めます。

さらに、市内の高校の魅力を高める取り組みとして、高校と地域の連携強化や学校の特色づくりを支援する計画です。

(3) 医療・介護・福祉の充実

3 点目は、**医療・介護・福祉の充実**です。

子育て支援では、「子育て応援券」を廃止し「誕生お祝い金」を導入するなど、より実情に応じた支援策を講じていきます。他にも、クリスタル

アージュのプレイルーム等において、親子で遊べ、子育てについて相談できる「地域子育て支援センター事業」を開始するなど、妊娠・出産から子育てまでを支援する「ネウボラ」の体制を拡充します。また、私立の保育園と認定こども園における保育士の処遇を改善し、人材の確保を支援します。

医療については、おたふくかぜのワクチン接種とともに、国が積極的な勧奨を再開した子宮頸がんのワクチン接種を推進します。

介護に関わる分野では、生活習慣病やフレイルの予防を目的とした健康啓発を一体的に展開します。

(4) 生活環境の向上

4点目は、生活環境の向上です。

まず、市民生活を支える都市機能の維持を目的に「都市計画マスタープラン」を策定します。併せて、お太助バスやお太助ワゴンといった公共交通の役割を整理し、具体的な交通施策を進めるために「公共交通計画」を定める方針です。

生活をより便利で豊かにする DX としては、スマートフォンの普及を進めます。高齢者を対象に、使い方を学ぶ「スマホ教室」を実施するとともに、スマートフォンの新規購入を補助します。

地域の活力という観点では、多様な形で関わる「関係人口」の拡大を図る一方で、地域振興会や市民団体との協働を通して地域づくりを推進します。

空き家対策においては、市民モニターで集まった意見を反映させ、空き

家利用者の増加と空き家物件の抑制を図ります。

市道や上下水道などのインフラは、利便性の向上とともに施設の長寿命化に取り組みます。とりわけ、水道事業においては、広域連携による令和5年度からの事業統合に向けて準備を進めます。

ごみの対策では、小型家電回収ボックスの設置を軸とするリサイクル事業や、民間事業者の知見を活用するリユース事業を展開していきます。また、女性会や高齢者大学における環境教室などを通じて、3R活動の啓発も行います。

(5) 産業の振興

5点目は、**産業の振興**です。

農業における経営改善を促すため、引き続き、ICT機器を使ったスマート農業を推進します。衛星画像などを活用する実証実験を行い、導入可能な技術を研究していく計画です。

有害鳥獣対策としては、モデル集落の実証実験を基に有効な対策の指導や必要な助成を行います。また、広島県の事業とも連携し、野生鳥獣の適正な個体数管理を推進する方針です。

ほ場整備では、すだれ地区と火の谷地区で土地改良区を設立するなど、農地の集積・集約化や高付加価値化への支援を継続します。

商工の振興については、ITやエンタメなど本市にない業種の企業誘致に力を入れ、地域の課題解決や活力向上に繋げていきます。

(6) 文化・芸術の振興

6点目は、文化・芸術の振興です。

令和5年は、毛利元就が多治比猿掛城から郡山城に入城して500年という節目の年に当たります。毛利元就に関する記念事業の他に、歴史民俗博物館のリニューアルや郡山の登山道の整備を実施する計画です。

また、サッカー公園を練習拠点とするサンフレッチェ広島は、令和4年に「クラブ創立30周年」を迎えます。サンフレッチェ広島と連携を密にし、お互いがお互いにとって推進力となれるよう関係を強化していく考えです。

本市を代表する伝統芸能「神楽」に関しては、市内外でのプロモーションを通じ「ひろしま安芸高田神楽」が持つ魅力の発信を強化します。特に令和4年5月の大阪公演を足掛かりとして関西地方での知名度を上げ、ブランド力を高めていきます。

なお、神楽門前湯治村などの観光施設については、経営分析に基づいた採算改善に取り組みつつ、施設の改修を含め運営方針を検討します。

(7) 多様性の構築

7点目は、多様性の構築です。

人権の尊重という意味では、障害者や外国人といったマイノリティを含む全ての市民が相互に理解し、多様性を認める社会でなければなりません。男女格差を始めとするあらゆる偏見や差別を根絶し、自由で平等な社会を構築するよう努めます。

性的マイノリティの方々を支援する取り組みとしては、「パートナーシ

ップ制度」の導入に続いて、市民のさらなる理解を促すとともに、ファミリーシップ制度の導入を目指します。

さらに、多文化共生センター「きらり」を拠点する交流事業によって、次世代に向けたリーダーの育成、ネットワークづくりに注力します。

4. おわりに

以上、令和 4 年度予算編成の提案にあたり、所信の一端を申し述べました。

本市には構造的に問題が山積しており、将来の展望は決して楽観できません。しかし、だからこそ今、後顧の憂いを絶たなければならないと考えます。

「いかに変わっていけるか」が問題解決の鍵を握り、「変化」を厭えば事態は悪化の一途を辿ります。その意味で、新たに真に統合されたまち“新/真・安芸高田市”の実現に向けて、さらなる改革を進める覚悟です。あらゆる事務・事業を再設計し早急に持続可能な形へと変えていきます。

より良い未来に向けて、市民の皆さまにはご理解とご協力をお願いします。